



くまがや市商工会青年部部長として、また株式会社長島工務店の代表取締役として活躍する長島利明さん。故郷への熱い思いを聞いた。

縁結びのまちの明日を担う 若手事業主の兄貴分 生まれ育った故郷を みんなで盛り上げたい

くまがや市商工会青年部 部長
株式会社長島工務店 代表取締役
長島利明さん



1977年4月16日生まれ A型
趣味：趣味はゴルフ
家族は妻、小3の長男、年長の長女、年少の次男

**興味を持った家づくりの世界
地元根付いた会社づくり**

くまがや商工会青年部は、旧妻沼町などを拠点に事業を展開する青年経営者や後継者の集まり。18歳から45歳までの60人が、地域の集まり。18歳から45歳までの60人が、地域振興とまちづくり、自己研さんを目指し様々な活動している。2010年には公募で地域振興のシンボルキャラクター「えんむちちゃん」を選出。縁結びのご利益があるといわれる歓喜院「通称」聖天様¹が12年に国室に指定されたのを追い風に、まちの賑わいに一役買っている。

青年部部長の長島利明さんは生まれ育ちも妻沼という生粋の妻沼っ子。「子どもの頃からみんなの前に出るタイプでしたね」という通り、小学校では児童会長、スポーツに力を入れている。高1で大学生選挙にも勝利し「屋吉丈一郎を倒すのは俺だと思っていました。その時期ボクシングと同じくらい興味を持ったのが家づくり。「新聞の折り込みチラシを見ながら、こういう家を建てたいとあれこれ描いていましたね」。夢を叶えるべく熊谷工業高校の建築科で学び、大工の道へ。地元工務店での修業を経て26歳で独立した。完全自社施工が売りだ。キッチンメーカーは「挿入魂」。群馬県の山林と直接契約するなど品質とコストに気を配る。大手メーカーのように宣伝費はかけないが、1つひとつ丁寧な仕事で次のお客さんを呼んでいく。2004年の開業以来地域づくりの中心を担ってきた。新築だけでなく、水漏れの対応や畳の交換など様々な要望にも応える。「こちらは新築屋ではない。細かな対応、自信を持った仕事で、地元根付いていることの証」。

**えんむちちゃんとともに
人と人の縁を結ぶ**

長島さんが商工会に入ったのは8年前。今年5月に部長に就任した。「青年部世代は今後は若旦那でも、ゆくゆくは会社の顔になる。次の時代を担うんですから、自分の言葉で語れなければいけないし、まる全体も盛り上げると高い意識を持ってほしいんです」。青年部最大の武器はえんむちちゃんだ。着くまがや市商工会の幼稚園・保育園にえんむちちゃんが遊びに行く訪問事業も、青年部恒例の行事になった。長島さんは「えんむちちゃんの絵を描いてもらったり、一緒に踊ったりするんです。キヤクスターを通してその背景のまことに興味を持ってくれたら嬉しいですね」と笑う。企業PRを目的としたボクシング事業も好調だ。メンバーが作ったチラシをまど冊子を作成、地元で頑張る企業の情報として家庭に届ける。チラシには各社オリジナルのえんむちちゃんが登場。ニッカホップを穿き、丸太を担ぐ長島工務店のえんむちちゃんもいる。2016年1月には、深谷寄居の商工会と合同で婚活イベントを初めて開催。文字通りの縁結び事業を楽しみにしている人も多い。アイデアと行動力を形にしていく長島さんと仲間たち。人情味あふれる妻沼のまちが、友達と友達をくっつけてみんな友達にしちゃうことが特技というえんむちちゃんのおかげで、よりよい故郷になっていきそうだ。



長島さんの開業広告もご覧下さい。